



令和5年(2023年)4月7日(金)発行

第56回入学式 式辞

札幌市立栄中学校長 瀧澤 佳実

暖かな春の日差しが何より嬉しい季節となりました。この佳き日に、PTA会長の駒澤 尚忠様をはじめ副会長様、保護者の皆様のご臨席を賜り、札幌市立栄中学校、第56回入学式を挙げてまいりますことを感謝申し上げます。壇上からではございますが、心より厚くお礼申し上げます。

さて、新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

大きな喜びと希望を胸に、本校に入学された230名の皆さんは、今日から栄中学校の生徒です。教職員一同、そして残念ながら今日は出席できなかった在校生も、皆さんの入学を心待ちにしていました。

皆さんは、心も体も大きく成長する小学校高学年の3年間を新型コロナウイルス感染症に翻弄(ほんろう)されました。でも皆さんは、感染症対策を徹底しながら、そのときできることを一生懸命取り組んできたことと思います。少しずつ世の中が落ち着いてきた今、義務教育最後の三年間が充実したものになることを願っています。

本校は、昭和43年に札幌市で43番目に開校した、大変歴史のある学校です。現在の新しい校舎になって2年と少し、皆さんの先輩や地域の方々、多くの教職員のおかげで、地域に大切にされ、地域に支えられる学校となりました。これまでの歴史や伝統を引き継ぎ、2、3年生とともに、さらに立派な学校にしてくれることを期待しています。

新たな気持ちで、栄中学校での生活をスタートするに当たり、心にとめてほしいことを2つお話しします。

1つ目は、自分と自分の周りの人たちを大切にしてほしいということです。ステージ横の右側に掲示してある「吾あり仲間あり 学びあり」は、栄中学校がずっと大切にしてきた、学校教育目標です。最初の「吾あり」は、自分のことです。まず、自分の良さを知り、自分自身を大切にしてください。そして、自分の可能性に挑戦し、自分の夢の実現に向けて努力を続けてください。小学校6年間で身につけた力をさらに伸ばし、様々な経験を通して自分の視野を広げていってほしいと思います。「仲間あり」は、自分の周りの人たちのことです。これから、新しい出会いがたくさん待っています。相手を思いやり、受け入れ、尊重することを忘れないでください。自分と同じように、自分の周りの人たちもかけがえのない存在なのです。当たり前なのが実は当たり前でなかった、ということを実感させられたこの3年間でしたが、一日一日を大切に、仲間とともに精一杯過ごしてほしいと思います。

2つ目は、いろいろなことに興味をもって、失敗を恐れずに、今しかできないことに一生懸命取り組んでほしいということです。「学びあり」です。学校は「学び」の場ではありますが、ただ知識を蓄えることだけが「学び」ではありません。毎日の授業はもちろんですが、学年や学級の活動、部活動や生徒会活動など、自分を成長させる機会はたくさんあります。授業の内容をただ受け止めるだけではなく、学校で学んだことが、どうすれば自分のものとして身に付いていくのかを考えることが必要です。また、いろいろな考えに触れることによって、自分のものの見方や考え方を別な角度から見直したりすることもできます。これから先の未来も、あらゆる領域で、大きく、急速な変化が起こる、予測困難な時代であると言われています。一人ひとりの興味関心を大切にしながら課題を見つけ、社会とつながり、学びを深めていくことが必要になります。もちろん、不安なこともあると思いますが、周りには助けてくれる人がたくさんいます。わからないことや困ったことがあるときは、遠慮なく頼ってください。安心して、中学校生活を送ってほしいと思います。

結びになりますが、保護者の皆様には改めてお子様のご入学を心よりお祝い申し上げます。新型コロナウイルス感染症は落ち着きを見せ始めていますが、今後ともご家庭でのご協力をお願いすることもあるかと思っております。また、お子様たちは今日からの新しい生活に戸惑うことがあるかもしれません。ご家庭でのサポートもお願いいたします。ご家庭と学校のつながりを大切にしながらお子様の健やかな成長を願い、その成長を見守ってまいりたいと思います。教職員一同、力を合わせて、日々の教育活動に取り組んでまいりますので、今後とも、ご理解とお力添えをお願い申し上げます。

新入生の皆さん、いよいよ中学校生活が始まります。月曜日から元気に登校してください。新入生の皆さんのこれからの活躍を大いに期待して、式辞といたします。

新 入 生 代 表 の 言 葉

1年2組 齋藤 志羽

春風が心地よく感じられる今日、私たちは栄中学校に入学します。本日は、私たちのために、このような盛大な式を行っていただき、誠にありがとうございます。新入生を代表してお礼申し上げます。

中学生になるということに、正直まだ実感がありません。しかし、部活動や勉強など新しく始まる事がたくさんあり、楽しみな気持ちと不安な気持ちが入り混じっています。まだまだ未熟な私たちですが、先輩方の背中を見ながら、成長していきたいです。伝統ある栄中学校の一員として、責任ある行動を心掛けていきます。校長先生をはじめ、先生方、先輩方、どうか温かいご指導をよろしくお願いします。以上をもちまして、新入生代表の挨拶とさせていただきます。

在 校 生 代 表 の 言 葉

3年3組 下田 絆愛

冬と春を歩き来しながらも、ようやく麗(うら)らかな春の光を感じるこの頃。今日、新たな一步を踏み出す新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生を代表して、心より歓迎申し上げます。

今、皆さんの胸には、これから始まる中学校生活への大きな期待と小さな不安があることと思います。慣れない環境で過ごす日々の始まりには、誰もが不安を抱いてしまうものです。ですが、中学校では学校祭や校外学習など、その時にしか経験することのできないたくさんの楽しみが皆さんを待っています。それらの行事を通して、クラスの人と仲が深まったり、先輩方や先生方との信頼関係ができていくと思います。その中で、もし、困ったことがあれば、ここにいる仲間や先輩方、先生方に遠慮なく聞いてください。きっと皆さんの力になるはずですよ。

中学校で過ごす日々は3年間しかなく、あっという間に過ぎていくように思います。事実、私も入学してからの2年間は、想像していたよりも、速く過ぎていきました。ですから皆さんは、一日一日を大切に、日々、学びや経験を積み重ね、たくさんのことに挑戦してください。何度も挑戦し、時には失敗することもあるかもしれませんが、それでも、結果的にその努力が実を結ぶことを信じ、また前に進むことを恐れなくてほしいです。

皆さん一人一人が、栄中学校の生徒としての誇りをもち、充実した中学校生活を送れることを期待しています。

そして、私たちと一緒に栄中学校をより魅力あふれる学校にしていきたいと思います。

令和5年度 1学年 担任・副担任一覧

学年	学級	学級担任	教科	副担任	教科	学級
1年	1組	紫藤 寛司	理科	荒井 智佳 加藤 晃 立山 菜穂美 結城 学 澁谷 愛	英語 数学 国語 社会 特別支援	1組
	2組	山中 均	国語			4・5組
	3組	中嶋 えりな	音楽			3・6組
	4組	大内 詩歩	英語			2・7組
	5組	佐藤 汐里	音楽			
	6組	菅原 美穂	理科			
	7組	岡野 憲一郎	技術			
	8組	高橋 千智	特別支援			特別支援

4月の 主な行事

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 10日(月) 部活動見学紹介① | 19日(水) 前期認証式 |
| 11日(火) 学級写真撮影 | 委員会・局会・学年協 |
| 12日(水) ワーク販売(8:00~) | 20日(木) 図書館開館 |
| 春の学力テスト | 全協・議長講習会 |
| 局員選考日① | 25日(火) 学校公開日・学年PTA |
| 部活動見学紹介② | 8組新入生歓迎会 |
| 13日(木) 部活動見学紹介③ | 26日(水) 生徒総会議案審議 |
| 局員選考日② | 部活動集会 |
| 14日(金) 新入生歓迎集会 | 27日(木) 委員会・局会・学年協 |
| 18日(火) 認証式リハーサル | 28日(金) 心のアンケート・いじめアンケート |